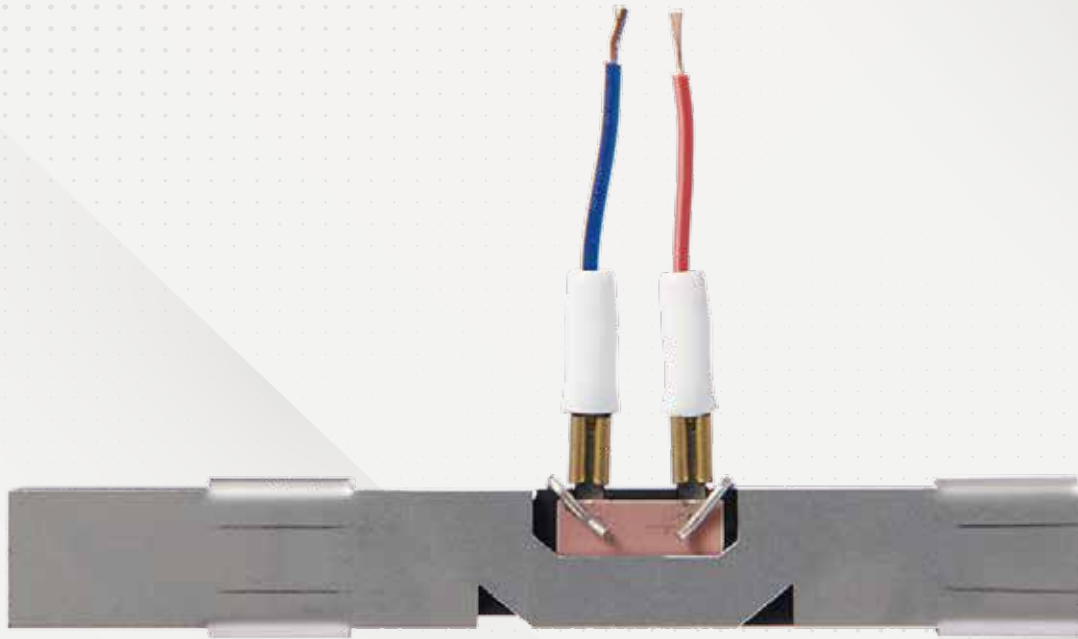


インフラタグ（導通確認タグ）

センサー +RFID でメンテナンス業務を効率化！



特徴

- ①高耐久
 - ・屋外での耐用年数 20 年以上を実現
 - ・急激な温度変化や、交通路における振動に耐え得る構造
- ②金属対応
 - ・金属へ取り付けても通信が可能
- ③電極汎用性
 - ・電極の長さは柔軟に対応可能

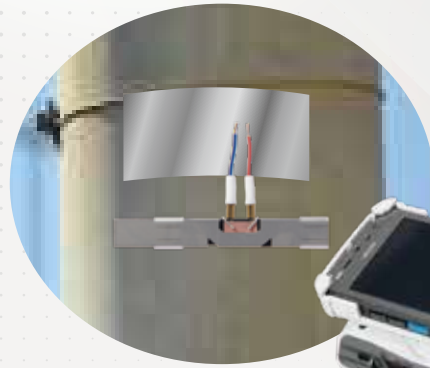
犠牲防食材と組み合わせて、鉄製構造物の状態をモニタリング！

インフラタグ (導通確認タグ) とは

2つの端子間の導通あり/なしを検知できるバッテリーレスタグです。

RFIDはリーダからの電波によってタグを起動させるため、タグに電池を搭載する必要はございません。

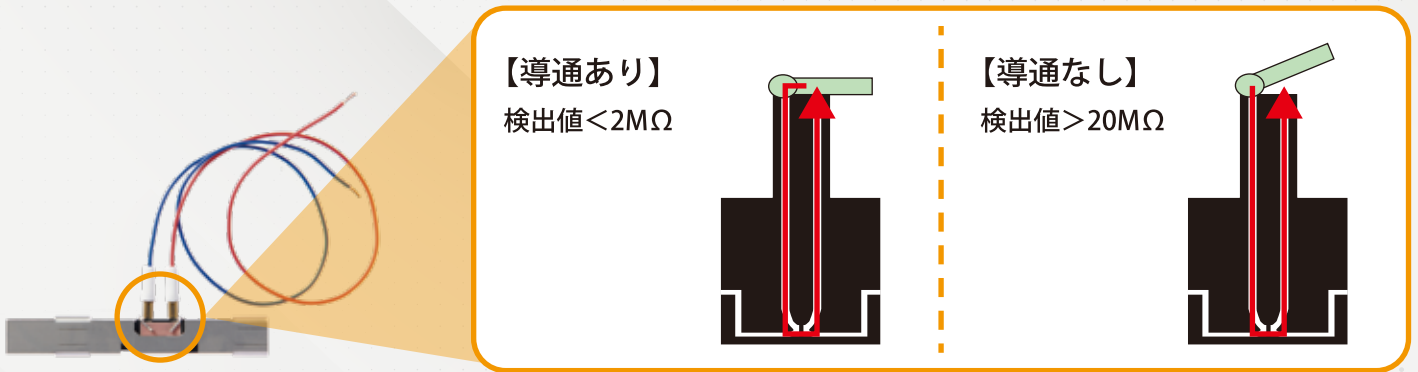
そのためバッテリーレスで半永久的な使用が可能です。



導通確認の仕組み

導通あり/なしでメモリ内の特定領域の値が変化することで判定しております。

検出する抵抗値により導通あり/なしの判定ができる仕組みです。



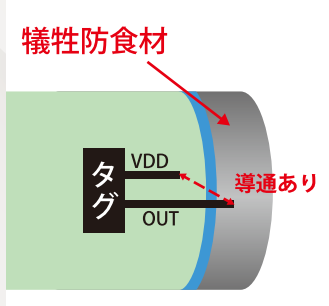
主な用途

犠牲防食モニタリング

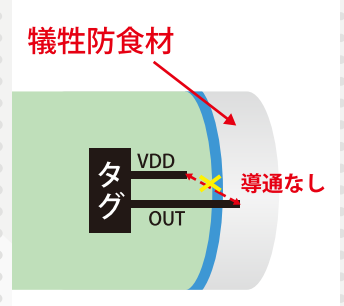
犠牲防食材と組み合わせることで、鉄製構造物の腐食をモニタリングすることが可能です。

橋梁や電柱などの腐食の検知が求められる構造物へのメンテナンスの際に真価を発揮いたします。

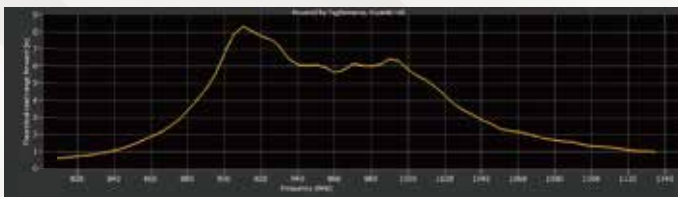
犠牲防食材の機能が継続している間は導通を示します。この場合、対象物に対する防食機能が働いていることを確認できます。



犠牲防食材の機能が失われると導通を示しません。この場合、対象物に対する防食機能も失われていることを確認できます。



通信波形



※出力：4W
電波暗箱での測定結果

※1Wのハンディリーダで
約4m程度の通信が可能です。



株式会社 イーガード

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町13-8 大場ビル TEL: 03-3249-4556
<https://www.e-garde.co.jp/>